

# 会計年度任用職員(5月1日付け任用)を募集

募集情報については、市ホームページまたは広報もりやまに順次掲載します。  
詳しくは、市ホームページをご覧ください。



募集情報

## 募集情報

草津公共職業安定所☎(562)3720)、ジョブプラザ守山☎(583)8739)または担当課まで申し込み。  
試験日や当日の持ち物など詳しくは、市ホームページをご確認ください。  
業務内容は「そのほか所属長が指示する業務」を含みます。

担当課	職種・業務内容	資格・経験の要件	人数	募集期間・電話
こども家庭相談課	事務員 (児童手当および児童扶養手当関係の窓口での受付事務、電話対応、パソコン入力事務など)	・パソコン操作が可能なこと	2人	4月9日(金)まで ☎(582)1159

佐川美術館  
アートコラム④

### 樂焼御ちやわん屋

公益財団法人佐川美術館  
学芸員・松山早紀子

茶道には独特の作法があるため、使用される道具には工夫が必要とされます。特に、侘び茶を大成した千利休は独特の好みを持つて茶道具を選び、利休を流祖とする千家もまた利休好みの作品を作る職人を重用してきました。

千家が指定した十人十職の家系を称して「千家十職」といい、その内訳は、土風炉・焼物師の永樂善五郎、釜師の太西清右衛門、表具師の奥村吉兵衛、竹細工・柄杓師の黒田正玄、指物師の駒澤利斎、袋師の土田友湖、金物師の中川浄益、塗師の中村宗哲、一閑張細工師の飛来一閑、そして茶碗師の樂吉左衛門です。

千家十職は、千家家元において「職家」と称され、利休の好みによる形や色を大切に守り、そこに時代に沿った創意工夫が加えられてきました。

今から450年前、利休のもとで初代長次郎によって造り出された茶の湯にもちいる樂茶碗は、樂家において一子相伝で造り続けられてきました。轆轤を使わない「手捏ね」という成形方法であるため、掌にじっくりとなじみ、お茶をおいしくいただけます。

また、樂家文関には本阿弥光悦(1558-1637)筆と伝えられている「樂焼御ちやわん屋」の暖簾が掛けられています。

佐川美術館では、職家のうちの「御ちやわん屋」樂家十五代目の吉左衛門・直入によって造られた樂焼を、作家自身の設計創案による樂吉左衛門館で展示しています。

※開館情報につきましては、ホームページでご確認いただくか電話☎(585)7800]でお問い合わせください。

## 「広報もりやま」の 広告募集

「広報もりやま」は、毎月1日、15日に発行。  
新聞折込で市内全域に配達しています。  
市内の主要な公共施設にも設置しています。

申込方法など詳しくは、秘書広報室まで  
☎(582)1164 FAX(583)5066

広告料は1枠

**25,000円**

(タテ50mm×ヨコ84mm)

1頁(全面の場合)

**150,000円**

(タテ250mm×ヨコ180mm)

